

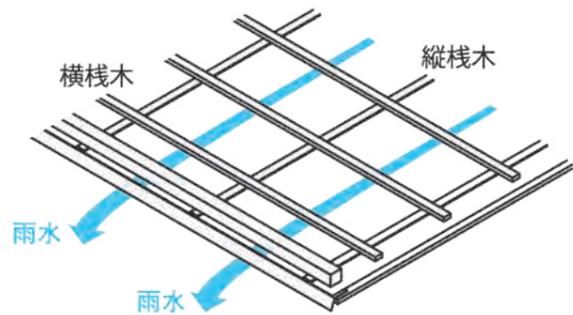
製品仕様

着色塗料
合成繊維不織布
改質アスファルト (粘着タイプ)
離型フィルム

粘着層付改質アスファルトルーフィング
プロタイト

厚み・1mm
幅・1m
長さ・16m
重量・16kg

製造元
静岡瀝青工業株式会社



縦桟木・横桟木の施工

- 縦桟木は雨水を軒先まで運び、野地面より外に逃す役割です。軒先の先端まで通してください。
- 縦桟木の代わりに、水抜き加工が施された横桟木・瓦座で施工も可能です。
- 桟木施工後は、各種瓦のマニュアルに準じて施工してください。

漏水試験

栄四郎瓦社内にて、瓦葺きを想定した試験体を作り、漏水試験を行いました*。
(写真はプロタイト試験より)

それぞれの勾配の試験体に野地板を張り、その上にプロタイトを張ります。

縦桟木・瓦棧を釘(#14×45mm)で留め付けます。

過酷な条件のもと、2時間連続400mm/h相当を散水します。

散水完了後、野地板の裏面全体に漏水はありませんでした。

瓦葺きを想定してスクリーナー釘*1・ビス*2を打ち込みます。
*1 #12×65mm *2 #13×65mm

桟木釘・瓦釘・瓦ビスを合計63箇所打ち付け、準備完了です。

野地板裏面、貫通したビス穴周辺にも、漏水はありませんでした。

ルーフィングを剥がし、野地板表面を確認します。

63箇所全ての釘・ビス穴の周辺で漏水はありませんでした。

試験結果
野地板の表面・裏面、全ての桟木釘・瓦ビス・瓦釘の周辺で漏水はありませんでした。

* 試験実施日:プロタイト(2.5寸勾配):2017年4月18日

製品は改良のため、予告なく変更することがあります。/本パンフレットは印刷物のため、現物の色と若干異なる場合があります。

EISHIRO
栄四郎瓦
栄四郎瓦株式会社
<http://www.eishiro.co.jp>

本社 〒447-8512 愛知県碧南市白沢町1-38
Tel.0566-48-5115 Fax.0566-48-2416
関東営業所 〒321-3233 栃木県宇都宮市上籾谷町3097-3
Tel.028-612-5823 Fax.028-612-5824
九州営業所 〒849-0101 佐賀県三養基郡みやき町大字原古賀5529
Tel.0942-94-4460 Fax.0942-94-4383



栄四郎瓦で葺く
緩勾配屋根
下葺材施工ガイド

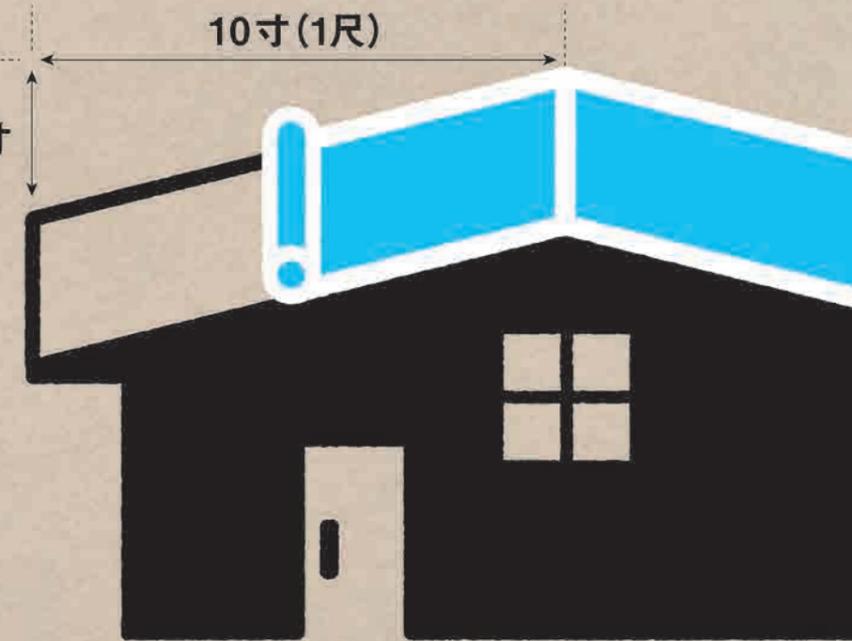
[防水強化仕様]

2.5寸勾配以上の新築屋根には

粘着層付改質アスファルトルーフィング
『プロタイト』



どんなに
緩勾配対応と称された瓦製品でも
それだけで雨水の侵入を
完全に防ぐことはできません。
適切な下葺材を使い、
野地部分の漏水対策を強化し、
雨水の侵入を防げる施工を
行ってください。



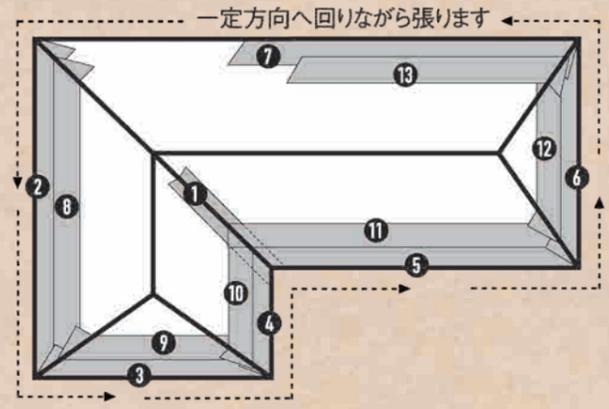


屋根の防水機能を100%発揮するためには、適切なルーフィング選びと施工が欠かせません。

屋根下地用の防水シート「プロタイト」。高い釘穴シーリング性を持ち、優れた防水性を発揮します。

適用範囲

- 本施工要領所は勾配2.5寸以上、流れ長さ40m以下の緩勾配屋根瓦施工「防水強化仕様」に適用します。下記に注意して施工してください。
1. 下地材がALC板、RC造、モルタル等の場合は適用外です。
 2. 屋根下地材は構造用合板12mmが基準です。
 3. 「プロタイト」施工後は速やかに屋根材を施工してください。
 4. リフォーム工事の場合は、適用の範囲外となります。

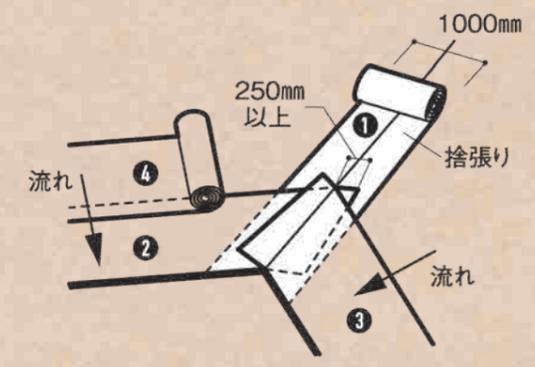


全体は左図の順番で施工をします。

- 谷部①からスタートし、②→③→④…のように軒先部から1段目のルーフィングを一定方向に張ります。
- 1段目を張り終えたら、⑧→⑨→⑩…のように2段目のルーフィングも一定方向に張ります。
- 同様の手順で棟部までルーフィングを張り上げます。

谷部は特に入念に施工願います。

- 数字の順番で施工してください。
- 谷部は特に雨水の量が多くなりますので、はじめに谷底を中心に一枚ものを捨張りしてください。
- 左右に重ね合わせ、谷底から250mm以上張り延ばしてください。

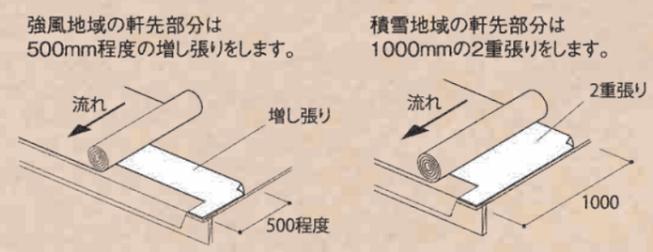


軒先は特に入念な施工が必要です。

- 軒先水切を必ず取付けてください。
- 軒先は特に雨水の量が多くなりますので、軒先の先端より丁寧に施工してください。
- 軒先水切の上部に張り重ね、先端まで伸ばしてください。
- 1段目の「プロタイト」は、雨仕舞のため、横重ねを作らないように1枚もので施工してください。(推奨)

積雪地域 強風地域

- 増し張りは軒先水切りの下側に施工します。
- 軒先の増し張り、2重張りは、すが漏れ対策ではありません。



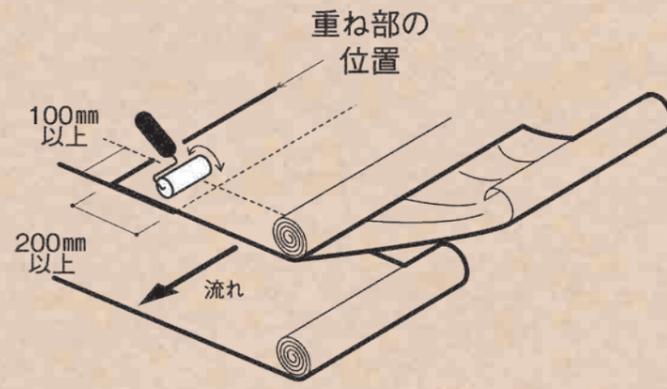
重ねしを充分にとってください。

※ ローラーを使用

- 重ねしは、縦方向 100mm、横方向 200mm 以上重ね合わせてください。
- ズレが生じないように離型フィルムを剥がしながら張り、重なり部は特に念入りにローラー等で転圧し密着させてください。
- 上下段の重ね部の位置は、2,000mm 以上ずらしてください。

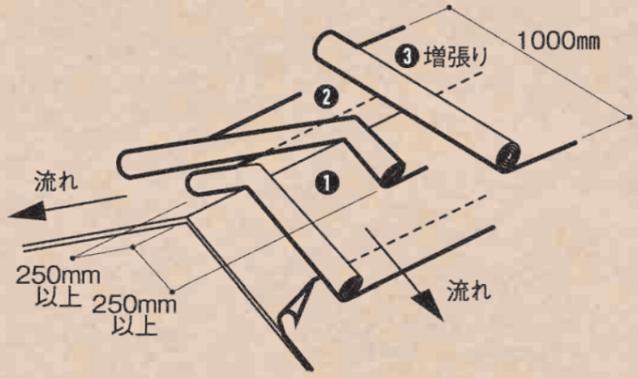
積雪地域 強風地域

- 一般部の重ねしは 500mm の錯張りで施工してください。
- 強風地域の 2 重張りは途中より標準の張り方に戻すこともできます。



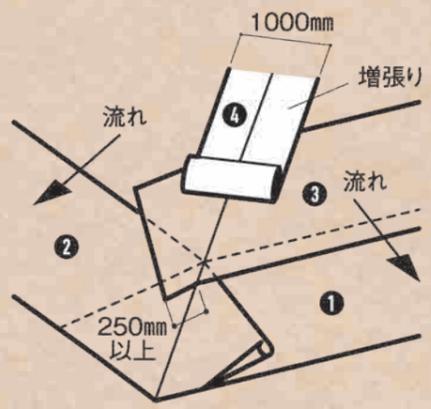
棟部は返し重ねを充分にとってください。

- 数字の順番で施工してください。
- 250mm 以上、左右へ折り掛けをしてください。
- 増張りは棟頂部から左右へ一枚もので施工してください。



隅棟部は返し重ねを充分にとってください。

- 数字の順番で施工してください。
- 250mm 以上、左右へ折り掛けをしてください。
- 増張りは棟頂部から左右へ一枚もので施工してください。



壁際は下葺材の立ち上がりを充分にとってください。

- 壁面との取り合いは、壁面に沿って250mm以上、かつ雨押え上端より50mm以上立ち上げてください。(増張り推奨)

